

い し ず え

全損保日勤外勤支部 東日本合同職場会ニュース 08 - 36

2008年 6月24日 (発行) 首都分会組対部

ミレアHD株主総会一週間総行動

「ミレアHD株主総会一週間総行動」が成功裏に終わりました。東京だけでも計300名以上の参加で、60000枚以上のビラを配り、丸の内や八重洲に宣伝カーが走り回り、東京海上日勤火災を糾弾する私たちの声が響き渡りました。本社に勤める社員にも、ビラや私たちの声が届いていることでしょう。

23日のミレアHD株主総会当日、会場内外で、外勤社員制度廃止を強行する、経営責任を全力で追求し、解決を確約するまでは行きませんが、解決に向けてミレアHD経営を追い詰めました。私たちの質問に経営は「係争中」と「反省と再発防止」を繰り返すしか術は無く、経営のCSRに対する認識欠如も露見され、自己解決能力が問われ、怒号の中で審議は打ち切られました。

他の株主から「ハートに心が無い経営」と言われたようですが、正にその通りだと思います。以前、金融担当大臣から「保険会社にはヒューマニズムが最も大切」と指摘されましたが、本当に今この会社に必要なのは「ハートに心を持った」人間性ではないかと思います。そして、経営だけでなく、ここに勤める社員にも「ハートに心」があるのか疑問に思うことがあります。同じ会社の社員が「おはよう」とビラを配布していても、我関せずと目も合わせようともしない。代理店や外勤社員を切り捨てることに、心が痛むことは無いのか、裁判所の判決に従わない経営に怒りは無いのか、怒りを表現できないのか。

対して、全損保組合員は人間性に溢れています。今回の行動中も皆、笑ったり怒ったり、時には仲間同士で喧嘩したり、それは、ハートに心があるから、ヒューマニズムがあるからです。怒りや喜び、そして人の痛みや悲しみも分かるのです。これからも「怒って笑って胸はって」、外勤社員制度を守り、東京海上日勤火災を正して行きましょう。